

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム ソレイユ 2F	評価実施年月日	H20.8.20～31
評価実施構成員氏名	榎本 婦美子、野口 優羽、榎原 陽子、瀬川 久代、小田桐 雅子、上村 雪乃、鈴木 貴		
記録者氏名	榎本 婦美子	記録年月日	H20.8.11

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>①当ホームでは、理念の柱として「家族」という言葉を入れている。「家族」こそが生活の基本と考え、地域生活での中核であり、最小単位として捉えているからである。そして、</p> <p>②当ホームへの地域の理解と、友好な関係、その関係の継続性、地域からの協力・支援を理念の2本目の柱とした。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>①新人職員教育で必ず理念について説明している。</p> <p>②研修会やミーティング等で常時理念の意味がずれないように説明や話し合いを行っている。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>①推進会議を通して、家族や地域の人々に説明したり、当ホームの行事に参加して頂き、交流の中で、理解をしてもらえるようにしている。</p> <p>②地域住民との交流や見学者に説明している。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>①散歩や買い物に出かけ、近所の人たちと挨拶やお話をしたり、気軽に立ち寄っていただけるよう、雰囲気作りをしている。</p> <p>②回覧板を回したり、犬の散歩をしている方と同行したり、ふれあいの場を作っている。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>①町内会の会合に出席したり、地域活動への参加申し込みに力を入れ、交流が出来るよう努めている。</p> <p>②敬老の日に町内の子供達からお花を届けていただいたり、交流がある。</p> <p>③町内会の役員として会計監査を受けている。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>町内の公園でのゴミ拾いを自主的に行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>管理者、職員でのミーティングを行い外部評価の意義を説明し理解した上で、評価や改善に取り組んでいる。「自己評価作成週間」を設け全スタッフで作成している。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>①利用者の家族、地域包括センター、地域の方々に参加して頂き、事業所からの報告や他からの質問・意見・要望を聞き、サービスの向上に努めている。 ②この場の話し合いにより、家族がボランティアでダンスを教えてくださいと、月1回ダンスのサークルを行っている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>①運営を行う中で疑問点がある場合は、その都度アドバイスを頂いている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>①当ホームで毎月行う研修会で、全職員が勉強している。 ②対応が必要な利用者が居る場合は、随時職員に説明し、支援している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>①研修会やミーティング等で高齢者虐待防止関連法について全職員が周知徹底している。 ②身体拘束対策委員会を設置し毎月話し合いを行っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>①利用者や家族の不安・疑問を十分に引き出し、説明と話し合いに十分な時間をとっている。 ②利用者の状態の変化や、経済上の問題を理由に契約解除に至る場合は対応し、方針の話し合いを行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	①利用者とのコミュニケーションをとり、言動や態度・行動などで察するよう常に注意している。 ②運営推進会議・苦情ボックスの設置等で意見を聞き入れる環境を作っている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月1回家族に「ソレイユ通信」を送り、暮らしぶりや医療面での報告を行っており、金銭管理している利用者は、金銭使用の明細を同時に送っている。又家族が来訪された時に職員の移動や、利用者の近況を報告している。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	①運営推進会議や苦情ボックスの設置等で家族の要望や利用者の立場に立っての話し合いをする機会を設けている。 ②毎朝のミーティングやフロア会議等で話し合い、運営に反映している。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	①月1回の研修会・毎朝のミーティング等で意見交換や提案を出し合い、努力している。 ②勤務時間内の休息等取れているか、ストレスのたまらないよう配慮している。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者や家族の要望に対応できるよう勤務シフトを組んでおり、利用者の状況の変化に応じてその都度勤務調整を行っている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	①新人スタッフや、フロア異動時、利用者や家族に紹介し、馴染みやすい環境を作るよう努力している。 ②利用者・家族への信頼関係を築くために引継ぎを十分に行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談時に家族・本人の要望を確認し、出来る事、出来ない事をしっかり説明することで、信頼関係を築いている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人や家族に見学してもらい、不安なく生活が出来るよう、職員ともコミュニケーションが図れるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	コミュニケーションを取れるよう、レクリエーション企画や食事の献立作り、材料の買出し等、一緒に考えたり、共に準備に参加してもらったり、楽しみを一緒に感じられるよう努めている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	施設の行事など参加して頂き、一緒に楽しい関係を築いている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族のつながりを、外出・外泊などにより、関係が途切れないよう機会作りを行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人・親戚。元恋人・元妻等の訪問を受け入れいる。本人が、出掛けて行く事も、しばしば(勿論、本人の意思確認のもとで、行っている)		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	①お茶や食事の時間を多くとり話題づくりをし利用者同士の関係がうまくいこうよう努力している。 ②毎日感情が変化するので職員は注意深く見守る。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院や退去された利用者さんの所に面会に行く等関わっている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	①一人一人に声かけして、言動・表情に注意している。 ②食事に対する希望や外出は職員の方から声かけ、日常生活で困っている場合は、話を良く聞き自己決定できるよう支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	①本人・家族とコミュニケーションを多く取り本人を理解してサービスに努めている。 ②本人や家族に、どんな生活をしていたか聴いている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	①計画に基づき利用者の意思状態などを把握して対応に努めている。 ②できないことより、できることに注目して、その人らしい生活ができるように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	①ご本人や家族の思いや意見を聞き、職員全員でアセスメントやモニタリングを行っている。 ②介護支援専門員と職員・本人・家族等の意見を聞き、要望を反映させて介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月スタッフ全員で変化や経過を話し合い、3ヵ月毎に介護計画を作成しています。変化が生じた場合、その都度必要な関係者と話し合い、新たな計画を作成している。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	①食事・水分量・排泄・バイタルチェック・体位交換記入表や日々の暮らしの様子等記録している。 ②職員間での情報を共有し記録を基に介護計画の見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	①本人、家族の事情・状況に応じて 他医療機関や協力病院への通院・入院の支援を行っている。 ②外出の支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	レクリエーションや消防(火災訓練)等でボランティアの方々に協力・支援をいただいています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	生活支援員や、区の職員、市のオムツサービスの利用を行っています。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	①運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加することで、支援や情報交換が円滑にできている。 ②権利擁護について、地域包括支援センターと協働し、支援を受けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	歯科は毎週水曜日と、クリニックが併設している為、医師や看護師と常時連携をとり、日常の健康管理や医療の支援をしている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	スタッフから医師に直接質問や相談をしたりするなどし、治療を受けられるよう支援をしている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	本人を交えて、看護師やスタッフと日常的に質問や相談をしながら支援している。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	お見舞いに行くなどして、安心していただいている。病院との情報交換を密に行い、看護師やMSWと退院の調整ができるよう連携している。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	①家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 ②状態が変わるごとに、家族や本人の思いに注意し支援している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	医師・看護師・介護スタッフで常に相談・連絡・報告できる状態にし、チームで支援をしている。他に、近隣の大きな病院との連携を図り、緊急時にもすぐ対応してもらえるよう努力をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>移り住む場合、医療情報や介護情報、ケアプランなど、ケア関係者間で話し合い、情報交換を行っている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>一人一人のプライバシーに配慮し、全スタッフが厳重に行えている。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者がスタッフに要望など言いやすい様にコミュニケーションを図り、信頼関係を築ける様努力し支援している。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>①利用者の習慣や生活リズム、意向に配慮しながら、規則正しい生活が行えるように一日の時間の流れを作っている。 ②一人一人の体調に合わせて、その時の本人の気持ちを尊重して支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>①利用者一人一人の好む、身だしなみやおしゃれができるようスタッフが協力し、訪問理美容の業者に月2回来てもらい支援している。 ②自己決定がしにくい利用者には、職員と一緒に考え、本人の気持ちにそって支援している。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>①利用者と一緒に食材を買ってきたり、手伝ってもらったりし、食事を楽しんでいる。 ②職員と利用者で同じテーブルと一緒に食事をして、楽しい雰囲気を作っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	①お酒を飲む方は、一緒にお酒を買いに行くなど、楽しんでもらっている。 ②タバコは職員が預かり、他の利用者の迷惑にならないよう、場所を決めて配慮している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	プライドを傷つけないよう、おむつを安易に着用せず、時間を決めてのトイレ誘導を行い、自立した排泄行動がとれるよう介護している。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	①利用者の希望に添ってはいるが、入浴時間や日を全て利用者に合わせてはできないが、一方的に決め付けないよう、話し合いながら入浴を楽しんで頂けるよう支援している。 ②入浴を拒む人に対して、言葉かけや対応の工夫をしている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	①日中の活動を楽しんでもらえるよう、企画を立て参加して頂き、生活リズムを整えるよう努めている。 ②夜間安眠できるよう、夕方から穏やかな時間を過ごしてもらおう工夫をしている。 ③寝つけない時には添い寝したり、おしゃべりをしたり安心できるよう配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活歴等情報から職業や趣味を生かし役割分担や行事参加等の楽しみを利用者と相談しながら行っている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者のADLに配慮しながら、生活用品の購入などに付き添っているが、本人にお金を所持してもらい、間違いないよう見守っている。小遣い帳に必ず記載している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩、買い物、喫茶店等、希望をとり、戸外に出かけられるよう計画している。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	本人や家族との相談で希望があれば実現に向け取り組んでいる。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や友人等に電話しやすい雰囲気を支援している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来訪された方への対応を礼儀正しく、そしてあいさつを忘れずする等、家庭的な雰囲気できれいにおしゃべりが出来る居心地の良さを出せるよう努力している。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	①身体拘束禁止委員会を月1回行いケアを振り返り、身体拘束が行われていないか等点検している。 ②研修会等で身体拘束に関する勉強会を実施している。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	階段につながる扉、治安が悪い等、危機要因を考え、鍵をかけることの弊害を理解している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	①利用者のプライバシーに配慮しながら、記録を書いたり、掃除しながらさりげなく全員の状況を把握するよう努めている。 ②夜間はフロアの真ん中で休むなど全体の居室が見通せるよう利用者の安全に配慮している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	①全てを取り除くことはなく、利用者の状況・変化によって対応している。 ②ライターは、職員が管理し、そのつどわたす。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	当ホームでの研修会、フロア会議、医療からの指導等で全てに関する知識を学び、マニュアルに基づいて訓練したり、急変時の対応の仕方等、ひとりひとりの状態に合わせた事故防止の訓練・指導している。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	①毎月の研修会で救急時の日勤・夜勤時のマニュアルを全スタッフで訓練している。 ②研修会で全職員が応急処置等の勉強会を行っている。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年二回の消防訓練を行っているマニュアルを、スタッフの目の届く所に提示しフロア会議等で確認している。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	家族には、その状況の変化のたび、対応策を説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	体調の良い状態を把握し、利用者とかかわる事によって早期発見につなげ、全スタッフ日々心掛けている。申し送りに重視し異変時、即看護師に報告指示をうけている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	①看護師の指示に基づき、わからない所は確認しながら服薬の支援と変化の確認に努めている。 ②誤薬がないようスタッフ間での声かけ、顔と名前を最低5回は確認している。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	①毎日の体操、レクリエーション、散歩などで運動している。 ②飲食物では便秘によいとされる果物・野菜・ヨーグルト・牛乳・野菜などを摂取し便秘の予防に努めている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	①毎食後の歯磨きの声かけを行い、見守り、介助を行っている。 ②義歯は、就寝前に洗浄を行っている。 ③自立されていない利用者は利用者の気持ちに配慮しつつ、歯磨きの手伝いをする。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	①食事量、水分量、排泄量を毎日記録し、看護師に報告している。 ②体調不良などで食欲が低下した時などは、補食・食べやすい調理法を考え、支援している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策委員会の定例会で話し合いを行い取り決めをし、ホーム全体スタッフが実行し、来訪者にも手指の消毒などをお願いしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	①冷蔵庫内の消毒(週1回)布巾・まな板・包丁は毎日消毒。 ②賞味期限を確認し、冷凍したり処分したりしている。 ③手洗いと消毒を徹底している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	プランターを置いたり、明るく安心して出入りできるよう工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	①快適に生活して頂くため、毎日の掃除や食事作りの包丁の音やにおい等、心地よい家庭的な雰囲気心をかけている。 ②利用者のレクリエーションの作品や写真などを飾り、親しみやすく、生活感、季節感を採り入れ、居心地良く過ごせる工夫をしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	①利用者の一人一人の状態に合わせて気の合った同士でゆっくり過ごせるよう工夫している。 ②椅子の配置を工夫している。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家具類は本人の使い慣れた物を持ち込まれて、本人と家族で配置を考え居心地よく過ごせるよう工夫している。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	①換気扇は常時回して、においには気をつけている。 ②温度調節は体感温度に差があるため洋服などで個々に調節している。 ③トイレは、換気扇と消臭剤で悪臭が出ないように工夫している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	①通路、トイレ、浴室には手摺がついていて、安全に使用できる。 ②各スペースも広く造られているので、車いすでの生活も安全に過ごすことができる。 ③エレベーターもストレッチャーが入れる広さがあり、安全性を重視している。 ④転倒のないよう、家具の配置など原因となるもののチェックをしている。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	①失敗を防ぐよう、失敗の都度職員と話し合い不安なく生活できるよう、かかわっていく。②混乱を防ぐよう居室にそれぞれの名前を書いている。又、レクリエーションで造った本人の作品を貼るなどして工夫している。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	外回りにはプランターを置いて花に水を入居者と一緒に行ったりと活動できるようにしているが、大通りに面し、交通量、人通りが多い為制限される。		

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	②

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない ②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ①
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない ①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

- (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
- ①外出・買い物ツアー(ファクトリー・とんでん・ジャスコ)・遠足・ダンスサークル・習字サークル・抹茶の会等レクレーションに力を入れている。
 - ②月1回職員全員での研修会を行っている。
 - ③クリニックを併設し、医療と介護の密接な連携をとり、介護技術向上に力を入れている。